

令和7年度秋期 情報処理技術者試験

応用情報技術者 講評

【総評】

前回に引き続き、今回も午前試験は難しめで、午後試験は素直な設問が多かった印象です。特に午前の試験は前回よりも計算が多く、手間と時間がかかる問題です。午前を通過できない受験者の割合は、普段よりも高めではないかと予想されます。

【午前】

今回の試験では「計算問題が多い」、「深い内容を問う問題が多い」という印象を受けました。応用情報技術者試験からの過去問題流用数は35問であり、前回とほぼ同様です。古めの問題が多く流用された前回とは対照的に、今回の午前試験では過去問題の約半数にあたる17問が3回前(令和6年春)～8回前(令和3年秋)からの流用でした。特に3回前(令和6年春)～5回前(令和5年春)からの流用は10問と多くなっており、過去問題演習の効果は得やすかったといえそうです。

新規テーマの出題数は15問と、前回と同様に多めです。新規テーマについては全体的に「知らないと解けない」という難しめの問題が多かった印象です。

(午前・午後を通じて新規のテーマ)

- | | | |
|-------------------------------|-------------|------------------|
| ・スレッドセーフ | ・ハンバーガーメニュー | ・MVCC |
| ・BASE 特性を満たす NoSQL データベースシステム | | ・コードサイニング証明書 |
| ・CSPM | ・ペルソナ | ・プログレッシブ Web アプリ |
| ・タックマンモデル | ・液浸冷却 | ・アソシエーション分析 |
| ・MES | ・PLM | ・意匠法 |
| ・労働施策総合推進法 | | |

(午後で出題実績のある新規テーマ)

- | | | |
|----------|-----------|---------|
| ・ポートスキャン | ・スパニングツリー | ・自己資本比率 |
|----------|-----------|---------|

前回に引き続き、今回の試験でも「深い内容を問う難問」が目立ちました。例えば、午後試験の定番でもあるポートスキャンの問題では、単に「提供するサービスを調査する」「TCPにおけるスリーウェイハンドシェイクを利用する」といった内容を知っているだけではなく、「ICMP port unreachable」というメッセージがどのような意味を持つのかを判断する必要がありました。著作権の移転に関する問題でも、著作者人格権が氏名表示権だけでなく同一性保持権も含まれる点を理解している必要があります。このような正確な理解が要求される問題は、今回の午前試験で随所に出題されています。

今回の午前試験における最大の特徴として「計算問題が多い」という点が挙げられます。前回の試験では計算問題は9問であり、午前試験全体のおよそ10%でした。今回の試験では17問と倍増しており、午前試験全体の20%近くを占めます。簡単な問題も含まれますが、単に与えられた数値をやりくりするだけでは対応の難しい問題も散見されました。例えば、経済的発注量を問う問題では平方根を用いた式や考え方を知らない

この講評の著作権はTAC(株)のものであり、無断転載・転用を禁じます。

いと計算することができません。経済的発注量の計算式を問う問題は今までに出題されたことがあります、今回出題された問題はその計算式が提示されていない状態で計算をしなくてはならない難問でした。自己資本比率を求める問題でも、貸借対照表のどの項目が自己資本に含まれるのかを判断する必要がありました。このほかにも、伝送速度が異なる二つの LAN における伝送時間の差からパケット数を求める問題や、電圧の分圧計算を用いた LED の消費電力の割合など、知識や工夫を必要とする計算問題がいくつか出題されました。

全体的にみると、純粋な問題の難しさでいえば前回ほどではありませんが、今回の試験は手間と時間のかかる計算問題が多く、前回の午前試験とは異なる方向で難しめであったと評価します。

【午後】

午後の出題テーマは、次のとおりです。

問題番号	出題分野	テーマ
問 1	情報セキュリティ	企業グループのセキュリティ対策
問 2	経営戦略	スポーツウェアメーカーの事業領域拡大戦略
問 3	プログラミング	二つの列の最長共通部分列の長さを求めるアルゴリズム
問 4	システムアーキテクチャ	エッジコンピューティング
問 5	ネットワーク	クラウドサービスへの移行
問 6	データベース	受講管理システムの改修
問 7	組込みシステム開発	猫の自動給餌・健康監視システム
問 8	情報システム開発	モバイルオーダーシステムの画面設計
問 9	プロジェクトマネジメント	ソフトウェア開発モデルが混在するプロジェクトのマネジメント
問 10	サービスマネジメント	社内手続を扱うサービスデスク
問 11	システム監査	情報システムのアクセス管理状況の点検に関する監査

必須問題である問 1 の情報セキュリティでは、企業グループに対するサイバー攻撃へのセキュリティ対策が題材となっていました。グループ内の企業が攻撃を受けると、そこを足掛かりにネットワーク経由で別の企業に攻撃されることを意識する点が特徴的です。境界防御や SIEM、内部不正の抑止など、今までにも出題されたテーマがいくつか出題されているので過去問題演習を行っていればある程度の対応は可能ですが、need-to-know の原則や SBOM など午後試験では初登場の知識もいくつか含まれています。全体的に問題中の文章を抜粋すれば解答になるような設問が少なく、苦労された方も多いでしょう。全体的な難易度は、標準～やや難しめの印象です。

選択分野に目を向けると、今回の試験もテクノロジ系を中心に素直で解きやすい問題が多かったように感じられました。どのように解答するかの解答表現に迷う設問はいくつかありましたが、何を答えさせたいのかの判断に苦しむ設問は多くありません。強いて言えば、問 7 の組込みシステム開発の問題では自動給餌システムが題材となっており、給餌量や食べ残しなどを正確にイメージしないと解きづらく感じました。問 3 のプログラミングでは、何をやっているのかが難解なプログラムが出題されました。空欄自体は問題文中の説明をそのまま処理に落とし込むだけなので難しくはありませんが、処理を理解しようとすると時間を大幅に浪費してしまう恐れもあります。問 8 の情報システム開発の問題では、GUI 部品が出題されたことが特徴的です。ハンバーガーメニュー やカルーセルといった現在の UI デザインで利用される技術だけではなく、ラジ

この講評の著作権は TAC(株)のものであり、無断転載・転用を禁じます。

Copyrights by TAC Co., Ltd.2025

オボタンやドロップダウンリストなど古典的な GUI 部品も出題されています。Web で用いられるものも含め、様々な GUI 部品の種類や用途を知らないと意外に苦戦するかもしれません。問 6 ではスーパータイプの概念が登場しましたが、オブジェクト指向におけるスーパークラスの概念が理解できていれば問題なく対応できると考えられます。

ストラテジ系及びマネジメント系についても、既出のテーマや論点が目立ちました。問 2 の経営戦略では過去にも何回か登場した VRIO 分析が出題されました。いくつか答えづらい設問も含みますが、企業ドメインやブランドといった概念がイメージできれば対応は難しくありません。問 9 のプロジェクトマネジメントではアジャイル開発と EVM が出題され、問 10 のサービスマネジメントでもサービス可用性やエスカレーションが出題されるなど、出題実績のあるテーマが目立ちます。いずれの問題も答えにくい設問は含むものの、過去問題演習を繰り返していれば合格水準の 6 割に正解することは可能と思われます。問 11 のシステム監査では、監査手続を表形式で提示するという典型的な形式ではありませんでした。しかし、監査手續を実施する際の注意点や照合すべき監査証拠など、問われている内容は大きく変わりません。形式が変わっただけなので過去問題演習を繰り返していけば着目すべきポイントなどは見抜けたのではないかでしょうか。

午後試験全体としては素直な構成ですが問 1 が従来よりも若干解きづらく、知識も要求される設問や問題文の抜粋では答えられない設問もいくつかあるので、難易度としては標準的と評価できそうです。

以上